

平成31年度西成区運営方針の取組み 及び今後に向けて

令和元年度第2回西成特区構想部会

令和元年7月31日



重点的に取り組む主な経営課題

経営課題	めざす成果及び戦略	具体的取組	区政会議 各部会
子どもが育つ環境 の充実	子どもの「育ち」を支援	プレーパーク事業	教育部会
		こども食堂支援事業	
	子どもの「学び」を支援	西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)	
		基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)	
		西成区こども生活・まなびサポート事業	
にぎわいと コミュニティが 生まれる まちづくり	地域資源を活かした新たなにぎわい づくりと活性化	地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業	西成特区構想部会
		西成区魅力発信事業	西成特区構想部会 情報発信部会
	地域活動の支援強化	地域コミュニティ支援事業	情報発信部会
		緑化推進事業	
	地域でのつながりづくり・福祉による まちづくり	西成版サービスハブ構築・運営事業	西成特区構想部会
		地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	
単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業			
人権尊重のまちづくり	人権尊重のまちづくり		
防災・防犯 ・安全対策	コミュニティ防災力の強化	地域防災活動事業－地区防災計画作成を通じた地域防災力の向上－	情報発信部会
		地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－	
	防犯・安全対策の推進	防犯対策事業	
		自転車等安全利用啓発事業	
空家等対策の推進	空家等対策推進事業		
あいりん地域対策	あいりん地域環境対策	不法投棄対策	西成特区構想部会
		迷惑駐輪対策	
	あいりん地域を中心とした結核対策	結核健診の拡充による患者の早期発見・早期治療	
		結核患者の支援の充実	

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業

29決算額 ー 円 30予算額 ー 円 31予算額 14,263千 円

目標	目標値
本事業の参加者へのアンケートで、西成区に魅力を感じたと答えた割合	70%以上

今年度の取組内容

新今宮駅前エリア内において、外国人観光客をはじめ多くの区民・市民が回遊し、にぎわいが創出できるよう、企業等と連携し、アンテナショップやまち歩きなどの手法を用いた仕掛けづくりを行うとともに、空き店舗等の改修費用についての一部補助制度を創設する。(補助件数2件)

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化
西成区魅力発信事業

29決算額 2,271千円 30予算額 1,271千円 31予算額 1,731千円

目標	目標値
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると感じた割合	50%以上

今年度の取組内容

近年、増加傾向にある外国人観光客に区内を周遊してもらえるよう、また、まちの魅力が十分に伝わっていない状況にあるため、区民に魅力を再認識してもらえるよう、マップやSNS等の様々な媒体を活用して、西成区の魅力を積極的に発信していく。

- ・観光マップの外国語版の作成（英語：1,500部 中国語（簡体字）：1,500部）
- ・イベント等で観光マップ等を活用したPR活動 3回以上
- ・SNS発信回数 12回以上

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

西成版サービスハブ構築・運営事業

29決算額 ー 円 30予算額 ー 円 31予算額 19,256千 円

目標	目標値
課題解決に向けた具体的事例の検討件数	100件

今年度の取組内容

- ・生活困窮者等が気軽に立ち寄ることができる場所を設置し、そこを居場所として提供(180日以上)するとともに、地域の福祉サービス提供者等と連携し、さらなる居場所を開拓していくことにより、支援へとつなげる。
- ・また、就労、福祉などの分野を超えて、困難な事例の解決を図ることができる支援員を配置(180日以上)して、生活訓練から就労支援まで、個々人に応じたマッチングを図ることなどにより、抱える課題の解決を図り、各々に応じた自立をめざしていく。
- ・さらに、日雇労働市場や地域の膨大な福祉需要等を地域の資源として活用して、(中間)就労やボランティア先等の開拓などを行い、支援の出口そのものを広げることにより、社会参加を促していく。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

29決算額 28,965千円 30予算額 28,689千円 31予算額 28,287千円

目標	目標値
<ul style="list-style-type: none">地域へ提供した西成つながり名簿の年度更新の継続を実施認知症高齢者の事前登録発見協力者登録見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	16地域 新規50件以上(年度末登録150件以上) 新規30件以上(年度末登録320件以上) 60%以上

今年度の取組内容

区社会福祉協議会に「見守り相談室」を設置し、以下3つの機能を一体的に実施し、また、見守りフォーラムを開催(1回)するなど啓発活動を実施することにより、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を図る(福祉局区CM予算)。

- ①要援護者名簿(愛称「西成つながり名簿」)の地域への提供に係る同意確認・名簿整備
- ②見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- ③認知症高齢者見守りネットワークによる認知症高齢者の行方不明時の保護強化(事前登録及び発見協力者登録の推進)

※事前登録

認知症高齢者の行方不明時に協力者へのメールまたはファックス送信により早期発見につなげるため、写真や身体的特徴などを事前に登録する。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業

29決算額	12,980千円	30予算額	12,885千円	31予算額	12,881千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
「社会的なつながりができた、かつ生活が改善した」と感じている利用者の割合	70%以上

今年度の取組内容

社会生活が見込まれる者に対する職業体験や地域活動の体験プログラムや社会参加のための支援が必要な者に対する農作業、清掃作業等のプログラム(月曜日から日曜日の隔日)、見守りや日常生活の支援が必要な者に対する金銭・服薬管理のプログラム(週7日)などを提供する。

不法投棄対策

29決算額	131,283千 円	30予算額	166,882千 円	31予算額	147,066千 円
-------	------------	-------	------------	-------	------------

目 標	目 標 値
<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度の街路への不法投棄量 平成31年度の公園への不法投棄量 	平成30年度より増加させない 平成30年度比20%削減する

今年度の取組内容

- ・ 地域内における不法投棄を防止するために巡回活動を実施する。(年間364日)
- ・ 公園に設置した美化啓発拠点にて地域住民への家庭ごみの排出ルールなどの啓発及び悪質な不法投棄への対応を実施する。(年間364日)

迷惑駐輪対策

目 標	目 標 値
迷惑駐輪台数	2,000台

(人の入れ替わりが激しく、かつ安価な自転車が流通している地域特性を鑑み、平成30年度末までの目標としていた台数2,000台を維持。)

今年度の取組内容

- ・ 地域内において、自転車置場の利用を促進するとともに、長期間放置されている自転車を撤去する。
- ・ より多くの自転車の駐輪を可能とするため、日々、地域内自転車置場(960台)の清掃及び整理整頓を実施する。
- ・ 長期放置自転車への啓発エフ付作業を実施する。(200日以上)

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

結核健診の拡充による患者の早期発見・早期治療

29決算額	19,445千円	30予算額	19,121千円	31予算額	20,900千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
西成区で実施する結核健診(本館・分館・あいりん健診・地域健診等)受診者数	8,900人以上を維持

今年度の取組内容

- ・西成区保健福祉センターでの結核健診を月15日以上実施する。
- ・西成区保健福祉センター分館で毎日健診を実施する。
- ・西成区内30カ所以上の医療機関で、結核健診を委託実施する。
- ・あいりん地域内健診を月3回以上実施し、さらに患者発生アパートにおいて個別受診勧奨を実施することによりハイリスク健診を強化する。
- ・患者発生動向に即した検診車による地域健診を5カ所以上実施する。
- ・結核のハイリスク者である高齢者に対して、生保担当者や介護支援者等と連携して定期受診を勧奨する。

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

結核患者の支援の充実

29決算額	34,845千円	30予算額	33,937千円	31予算額	34,168千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下

今年度の取組内容

- ・あいりんDOTS(肺結核患者に対する服薬支援)を、患者の状況に応じて選択できるよう拠点型・訪問型を一体的に実施し、より確実な服薬支援を実施する。
- ・居所がない患者に対して、治療期間に限りあいりん地域内で居所を提供し、あいりんDOTSの実施により治療中断を防ぐ。
- ・あいりんDOTS実施者を対象とした「DOTS実施者のつどい」を月1回開催する。
- ・あいりん地域以外の患者に対して、リスクアセスメントを実施したうえで適切な服薬支援を選択して治療完了へ導く。